

CONTENTS

- 2 県連通常総会 / 県青連総会 / 県女連総会
- 3 小さな会社の「知財まさか！」防止塾
- 4 未来を応援 / 商工会の福祉共済

第753号

令和8年7月1日発行
(毎月1日発行 発行部数18,950部)

元気企業紹介

いちご農家が300年の伝統を守る！ 事業承継による鮎料理店との 二刀流!!

運上館 / かとういちご園

揖斐川の地に根ざし、先代が大切に守ってきた鮎料理の味とおもてなしの心を、いちご農家である私たち家族が受け継ぎました。当店が提供するの、幾多の時代、多くの貴人や美食家たちを唸らせてきた、岐阜・揖斐川の歴史そのものです。百年、いや数百年続く「清流の特等席」で、時を超えた美味をご堪能ください。



▲店舗外観

事業承継に至るまでの経緯



▲ブランド苺「美濃娘」

令和7年に運上館を事業承継する前は、「かとういちご園」と建設業（とび職）の兼業をしていました。現在も栽培している「美濃娘」は、甘味と酸味のバランスが良く、岐阜県を代表するブランド苺です。そうした中で、いちご農園のお客様でもあった、運上館の前店主より「店を引き継ぐことができる人を探している」という相談があったため、建設業に替わる部門として、事業承継により鮎料理店の経営に家族で挑戦するという大きな転換期が到来しました。

商工会支援を活用した取り組み

商工会の事業計画策定支援を受け、各部門の特徴や月別の業務フローを分析。夏季は鮎料理部門、冬季は

いちご農園部門をメインに据えて、2部門を両立しながら売上利益を確保していく事業計画を策定。さらに、日本政策金融公庫の事業承継融資の斡旋といった資金繰り支援を受けて、「いちご+鮎」の二刀流への挑戦が始まりました。

引き継ぎについては、従前から調理場の中心を担っているベテラン料理長の継続雇用を含め、前店主の協力的な配慮があり、「伝統の味」を円滑に受け継ぐことができました。



▲「季節の旬 清流の良さ 新鮮さ」が詰まったコース料理

また、新体制での夏季営業開始後に、プレスリリースを実施した結果、中日新聞に「老舗のアユ料理店に挑戦」の記事が掲載。その反響により、東海テレビニュースONEで「岐阜名物家族で守る伝統の味」の特集が放送。先代から続く常連客に加え、県内外の多くのお客様にご来店いただいています。

これからの展望

運上館の歴代店主が築き上げてきた伝統を守りながら、将来的には「鮎料理×いちごメニュー」によるシナジー（相乗効果）を生み出すことも計画しています。暑い日が続きますが、この夏はぜひ、自然豊かな揖斐川町にお越しください。（所属 揖斐川町商工会）



運上館
UNJOKAN
創業三百年

運上館
代表 加藤 三幸



HP▶

📍 揖斐郡揖斐川町房島一区
☎ 0585-22-0677 予約優先
🕒 11:00 ~ 14:00
🗓 毎週木曜日
🕒 営業期間 6月中旬~10月中旬



Instagram▶

